

1 里山の農作業を体験

東京農業大学カレッジ講座「里山景観保全活動」

里山の景観を保全・創造し、自然環境を生かした地域づくりを目的とした東京農業大学カレッジ講座「里山景観保全活動」は五月二十九日、三十日の二日間、村内各地で活動が行われました。



コンニャクの植え付けを体験する参加者

今回の活動には、首都圏の住民と学生二十九人が参加。初日は二班に分かれ、落合地区と富田地区の田んぼで田植えを体験しました。落合地区では本郷公市さん（落合）の指導で、富田地区は鈴木寛重さん（馬場）の指導を受けながら、水稲の苗を丁寧に植えました。



江竜田の滝の前で

都会から農山漁村への移住を支援する活動を行うふるさとと回帰支援センターと村が主催する「さめがわ・ふるさと

江竜田の滝など村内の景勝地を巡り、田舎の自然を満喫していました。

2 豊かな自然を満喫

さめがわ・ふるさと体験学校

体験学校」は六月十九日、二十日に行われました。

今回の体験活動は、神奈川大学や東京農工大学の学生十八人が参加しました。初日は、村農村体験交流施設「山王の里」で開校式が行われた後、二班に分かれて、「山王の里」指定管理者ライフサポートの会員の指導を受けながら、大豆の種まきや間伐作業を行いました。夜には夕食交流会が行われ、地元の人たちと交流を深めました。

二日目は、天狗橋や